

「金融仲介機能のベンチマーク」について

◎金融仲介機能の強化に向けた取組み

当組合は近い、早い、親切をモットーにお客様の「夢あるくらしのパートナー」をスローガンに「経営の健全性を保持し、地域社会の発展に寄与する信用組合」を経営方針に掲げ、高度化・複雑化する金融業務に対応できる強固な経営基盤の下、質の高いサービスの提供を通じて地域とともに成長することを目指しています。

最近の経済動向を振り返ると、政府の経済対策により景気は回復基調こそ維持したものの、その足取りには力強さがみられず、当組合の経営基盤における地域では、人口の減少や少子高齢化の進展も早く、依然として厳しい状況が続いていますが、金融行政方針に則り中長期的な経済・社会の動向を把握して、より存在感のある信用組合となるために「第3次経営力強化計画」（平成28年4月～平成31年3月）を策定し、規模の拡大に拘らず、ビジネスモデルの違いによる他行との差別化を図り、地域社会の発展を目指し、様々な施策に取り組んでいます。

こうしたなか、平成28年9月に金融庁より「金融仲介機能のベンチマーク」が公表されました。当組合では「金融仲介機能のベンチマーク」を活用し、金融仲介機能の強化に向けた取組内容や結果を検証することで、更なるサービスの発展、向上に継続的に取組み、お取引先企業の成長力強化や生産性の向上等をサポートすることで、地域の持続的成長に全力を尽くしてまいります。

※当組合の「金融仲介機能ベンチマーク」各項目の状況は下記の通りです。（平成30年3月末現在の共通ベンチマークの項目を掲載しております。）

◎「金融仲介機能のベンチマーク」とは

金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標として、平成28年9月に金融庁から公表されました。

すべての金融機関が金融仲介の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な「共通ベンチマーク」と各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる「選択ベンチマーク」から構成されています。これらに加え、金融機関が金融仲介の取組みを自己評価する上で、より相応しい独自の指標がある場合には、その指標を活用することも歓迎されています。

1. 共通ベンチマーク

基準日：平成30年3月31日

金融仲介機能	ベンチマーク(指標)の内容	当組の状況(直近3期)						項目・定義等のご説明	
		30/3	29/3	28/3					
(1)取引先企業の経営改善や成長力の強化	(単位:社、億円)	30/3	29/3	28/3				・当組にてお取引の状況をもとにメインとして位置付けさせていただいているお客さまについて、お客さまのグループ単位で融資残高を集計しております。	
	メイン先数	1,411	1,393	1,390					
	メイン先の融資残高	380	370	377					
	経営指標等が改善した先数	516	462	533					
(2)取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上	(単位:社)	30/3	29/3	28/3				・「売上高」、「営業利益」、「簡易キャッシュフロー」、「従業員数」、「営業運転資本回転期間」、「自己資本比率」を経営指標として経営指標が増加したお客さまをカウントし、融資残高を集計しております。	
	経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移	184	180	190					
	(単位:社)		条変総数	好調先	順調先	不調先			
	中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	28/3	346	23	130	193			
(3)担保・保証依存の融資姿勢からの転換	(単位:社)	29/3	302	19	133	150		・条件変更を行っているお客さまで当組が中心となり「経営改善計画書」を策定しているお客さまを集計しております。法人単独でのキャッシュフローにより判定しております。 * 好調先⇒計画比120%超 * 順調先⇒計画比80%~120% * 不調先⇒計画比80%未満	
	(単位:社)	30/3	246	22	51	173			
	金融機関が関与した創業件数	30/3	29/3	28/3					
	金融機関が関与した第二創業件数	14	34	33					
	(単位:社)	6	1	2					
	(単位:社、億円)		全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期		再生期
	ライフステージ別の与信先数	28/3	2,289	133	148	1,161	425		422
		29/3	2,255	158	175	1,275	322		325
		30/3	2,213	165	191	1,197	395		265
	ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高	28/3	550	29	48	261	40		169
(3)担保・保証依存の融資姿勢からの転換	(単位:社、億円、%)	29/3	566	41	73	291	46	115	
	事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	30/3	604	49	95	317	42	101	
	上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合	28/3	15.7%	35.6%					
		29/3	21.9%	50.4%					
	30/3	29.4%	56.1%						